

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年9月25日

アンケート期間: 令和4年10月1日～令和5年8月31日

事業所名: S.I.C.KIDS春日井校

保護者等数(児童数): 36 回収数 : 28 割合 78%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をしてきたことがあるため、一つ一つの配置や空間が十分か分からない。</li> <li>・走り回る我が子には、控室が狭く、机や椅子に乗ったり外へ行こうとするので危険を感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我の無いよう、ご利用者との距離や教具の安全に配慮し、今後の支援を行ってまいります。</li> <li>・支援開始前と終了後にすることを掲示しました。流れが身に付くよう、働きかけてまいります。</li> </ul>
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をしていくことがあるため、専門性に優れているとは言えない。</li> <li>・専門知識が無い職員もいるように思う。</li> <li>・マンツーマンで個別対応なのはありがたい安心。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我の無いよう、ご利用者との距離や教具の安全に配慮し、今後の支援を行ってまいります。</li> <li>・職員によって差が出ないよう、研修を充実させてまいります。</li> </ul>
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	1	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドアロックが子どもでも届く位置にあり、開けてしまう。二重ロックや、鍵の位置の対策をお願いしたい。</li> <li>・子どもがスムーズに動けるよう、事業所に着いてまずすることを視覚的に支援してほしい。</li> <li>・必要以外の物が置いたり貼ったりしていないので、子どもにとって何をすることが明確だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関のドアロックに関して、早急に対応し、安心して過ごしていただけるようにしてまいります。</li> <li>・ご意見をいただき、視覚支援を行いました。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26		1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・髪の毛が落ちていたのを見かけたことがある。</li> <li>・いつも玄関先まで裸足でも気にならない程綺麗にされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝と支援終了後に毎日清掃を行っています。</li> </ul>
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28				<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めの聞き取りをしっかり盛り込んでくれた計画書になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もしっかりと聞き取りを行ってまいります。</li> </ul>
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26				<ul style="list-style-type: none"> <li>二人の子どもが通所しているが、それぞれに合った支援を考えて実施されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様ごとに支援内容を寄り添わせています。</li> </ul>
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを楽しませながら、いつも違う支援をしてくれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員も楽しく支援させていただいております。</li> </ul>
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25		1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ教具に関心が持てるよう働きかけてもらえてありがたい。</li> <li>・今後に期待。毎週色々な事を考えて行ってくれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じように見えるトレーニングでも、継続していくことによつて少しずつ変化が表れてきます。声かけや導き方に変化を持たせることで、飽きがこないよう工夫しています。</li> </ul>
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	8	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシが置いてありイベントがあることを知ったが、詳細説明がなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明がなかったとのことで申し訳ありません。今後は余裕を持ってご案内ができるよう努めてまいります。</li> </ul>
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めの説明を詳しくされていない。</li> <li>・入所前にしっかり話してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応に差が出てしまっていることとお詫びいたします。ご不明な点がございましたら、いつでもご相談ください。</li> </ul>	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	24	1	3		時間が無かったからなのか、できたものの内容確認の写真添付のみだった。	内容の詳しい説明ができていなかったことをお詫びいたします。今後はそのようなことの無いようにいたします。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	4	7	7	・他事業所にて行われているから大丈夫。 ・事業所での支援と結果報告のみで、特に家でのアドバイス等はない。してもらえると助かる。	家族支援を充実できるよう、勉強会などの開催を考えてまいります。本部主催の研修もごさいますので、ご参加ください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23	4		1	・自分は伝えてはいるが、普段の話を長くできる時間が無いため、常にできているとは思えない。 ・日頃の子どもの様子を伝えることが無いため、共通理解できているかは不明。	支援終了後にお話できる時間が少なく、共通理解に欠けていることをお詫びいたします。支援中の時間を利用してお話しさせていただくこともできますので、お声がけください。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3	3	4	・面談がどのような頻度で行われるか知らない。育児に関する助言は無い。	モニタリングのタイミングは約半年に1回です。その都度お話を伺うこともできますので、いつでもお声がけください。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	11	14	・開催があることを知らされていないので、無いと思う。 ・他の方と接する機会が無いので、あれば参加したいと思う。	「こんな内容で話をしたい」「こんな先生がいる」など、ご意見やご提案があれば頂戴したいです。保護者の方と一緒に考えていくことができたら幸いです。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24			4	・すぐに対応してもらえてありがたい。 ・些細な事でも、すぐに返事をもらえるので助かっている。 ・子どもの現状などを聞いてくれてはいるが、それに関して対応してもらえているかはわからない。	苦情相談受付者、対応時間等は、重要事項説明書に記載しております。いただいたご意見を真摯に受け止め、より良い事業所にするため改善に繋げています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25		2	1	もっと時間がほしい。開始前は子どもが早くやりたくてバタバタ、終了後は帰ろうとするテンションの高い子どもの対応でバタバタ。支援内容や様子の報告のみで終わってしまう。	支援中の時間もぜひご利用ください。対応できる職員がいる時であれば、対応させていただきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	1	2	13	・SNS等での情報発信がもっとあるとよい。 ・情報がどのように公開されているかわからない。	・SNSの更新頻度を上げ、情報の発信に努めてまいります。 ・どなたにも明確になるよう、待合室に掲示するなど、工夫してまいります。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	26	1		1			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10	2	3	13	・マンツーマンで、すぐに避難救出ができるため、訓練は無いと思っていた。 ・支援時間中は近くで待機しているため、そこまで心配はしていないが、発生した時の対応は聞いておきたい。 ・見たことがないため不明。	・ご利用者参加型の訓練と、職員のみで行う訓練とがごさいます。 ・非常事態が発生した場合のマニュアルが周知できていなかったことをお詫びいたします。今後、待合室への設置を予定しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	3	4	16		
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	4		1	・何があったかわからないが、特定のコーチを嫌がり、「いきたくない」と言うことがある。 ・事業所へ向かう車内でも喜んでる。週一では物足りない。 ・とても楽しく通っている。	・お子様を不安にさせてしまい、お詫びいたします。職員の資質向上に努め、安心して通っていただける事業所にまいります。 ・楽しみに通っていただき、ありがとうございます。より喜んでいただけるよう、努めてまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	23	事業所の支援に満足しているか	23	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフによって知識や子どもへの対応が違う。ある程度統一した知識があるとよい。</li> <li>・のびのびと体を動かし、スッキリとした表情で戻ってくるので安心している。</li> <li>・支援の様子を定期的に見せてほしい。子どもの楽しそうな声や職員の話から、本人が楽しいことは伝わってくるが、実際に見ないと成長具合や課題がわからない。</li> <li>・子どものことを考えて熱心に支援を行ってもらっており、感謝している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員によつての差がなるべく少なくなるよう、資質向上に努めてまいります。</li> <li>・事業所としましても、成長した姿を見ていただきたい思いです。ただ、いつもと違うことが起こると不安を抱いてしまうご利用者もいらっしゃいます。職員にお声がけいただけると幸いです。</li> </ul>

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年9月25日

アンケート期間: 令和4年10月1日～令和5年8月31日

事業所名: S.I.C.KIDS春日井校

保護者等数(児童数): 20名 回収数: 13名 割合 65%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2		1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		4		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	12			1		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	12	1			・通所し始めたばかりでわからないが、いつも楽しそうに通っている。 ・毎回とても楽しそう。	楽しく通っていただいていること、とても嬉しく思います。プログラムについて気になることがございましたら、いつでもお声がけください。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			5	8		
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	2				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	3			支援終了後に少し話ができるが、本人がいるためあまり話せていない。	保護者のかた同様、職員もご本人がマイナスな感情を抱くような内容のお話は避けております。支援中にお話の時間を設けることもできますので、いつでもお声がけください。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2		2	通所し始めたばかりで、まだわからない。	いつでも対応させていただきますので、お声がけください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			5	8		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2		6	まだそのような状況になったことがない。	苦情相談受付者、対応時間等は、重要事項説明書に記載しております。いただいたご意見を真摯に受け止め、より良い事業所にするため改善に繋げています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1		2	LINEがあるのは良いと思った。	LINEは、お電話が苦手な方にも、「気軽に連絡できる」とご好評をいただいております。他に何かいいツールがありましたら、教えていただけますと幸いです。
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7		1	5	Instagramを見ている。	・SNSの更新頻度を上げ、情報の発信に努めてまいります。 ・どなたにも明確になるよう、待合室に掲示するなど、工夫してまいります。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	14	個人情報に十分注意しているか	10	1		2		
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	2	1	7		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2	1	8		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1				
	18	事業所の支援に満足しているか	13				・普段はとても満足だが、長期休暇中は支援時間が変わってしまい、通所できなくなるので困る。	支援時間の変更に関して、ご不便をおかけしていますこととお詫び申し上げます。当事業所は、行政の決まりに則りサービスを提供しております。ご理解いただけますと幸いです。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年9月20日

公表: 令和5年9月25日

事業所名: S.I.C.KIDS春日井校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	一箇所に利用者が集中しない様、トレーニングメニューの順番に配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	・待合室の時計の位置が、大人目線にしても高く、利用者からは特に見にくかったため、下げた。 ・事業所に着いたらまずすること、支援終了後にすることを、視覚的に示してほしいとのご意見をいただき、掲示を行った。わかりやすくなったとお声を複数いただいた。 ・開始時間にタイマーが鳴るよう設定している。	・一部整っていない所がある。構造化や情報伝達等への配慮に於いて早急に見直しをする。 ・通い慣れている利用者は大丈夫だが、体験にみえたお子さんや利用の浅いお子さんには、どこが何の部屋かわかりにくく、戸惑う姿が見られる。 →現在大人向けの表示のみになっているため、利用者目線での表示と位置に変更する予定。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0		・支援室内に、クールダウンスペースを設けたが、照明が届かず暗い。間接照明の設置を検討している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3	管理者が個別面談を実施し、目標設定と振り返りを行っている。	・管理者が全員に対してまだ面談ができていない。 →全員と面談した上で、事業所全体の目標設定を行う。 ・支援に関しては各々できているが、他業務に関してはできていない。 →他業務に意識が向くよう、時間の有効な使い方を考えていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		今回が初めての評価(R4.10月開所)
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		R5.9月末に公開予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	2~3か月に一度の定期的な研修がある。	・研修の種類や回数が妥当かがわからない。 →事業所内研修の機会を増やす予定。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	利用者の思いに加え、直接支援する指導員、客観的に関わる児発管、常に関わってみえる保護者それぞれから見た課題を盛り込めるようにしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	5		標準化されたアセスメントツールは使用していない。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1		集団においての様子がわかりにくい ため、保育園等を訪問する予定を立てている。(声かけの仕方などを統一できるように相談していく)
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	毎回支援計画を見てプログラムを組んでいる。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	・記録を共有し、当日のプログラムを立てている。	・その日の担当職員が立てることが多いため、チームでの立案は行っていないが、支援は繋がるようにしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・記録を振り返り、前回の内容と同じにならないよう、努めている。 ・メニューが同じであっても、同じだと感じない工夫をしている。	・どのトレーニングメニューもこなせてしまう利用者には、プログラム内容が似たり寄ったりになってしまいやすい。 →トレーニングメニューを増やし、より利用者の現状に合った支援が提供できるよう努めていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	0	5	・特に計画には記していないが、活動中に他の利用者と交流できる時間を少し設けている。	集団適応を助けるための訓練を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	・朝礼時に、当日気を付けることや前回の様子などを共有している。 ・必要に応じて行っている。	・当日使う教具などについては確認しているが、マンツーマン指導なので、役割分担について話すことはあまり無い。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	・空き時間を利用して、その都度報告しあっている。 ・必要に応じて行っている。	・支援終了後は毎日できていない。 →翌朝必ず行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・支援時の様子や利用者の発言などをできるだけ記録している。	行ったことの記録は良いが、どのように関わりどう変化したかについての記録が弱い。 →記録の仕方について再度話し合い、誰が記録しても成長具合や課題点がわかりやすいものとしていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・お子様の様子について事前に考えていただくため、1～2週間前にモニタリングのお知らせをお渡しできるよう努めている。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		まだ該当児がいないが、必要に応じて参画する。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	相談支援事業所とは定期的にやり取りし、情報共有に努めている。		
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当児無し		
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当児無し		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	事業所での様子をまとめ、変化や関わり方等の共有をしている。	全ての園との間でできているわけではない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3		今現在できていない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		・お互いの情報共有にとどまっているため、今後計画していきたい。 ・今後研修があるのであれば参加したい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		現在参加できていない。10月頃より参加を考えている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・支援終了後に、当日行ったことなどについて申し送りをしている。	・支援の様子についてはいつも伝えることができているが、状況や課題についての共通理解はできていない。支援報告が、指導員によってはしたことのみの報告になっている。 →例えば目標に基づいて支援を行ったのであれば、『どのような姿があり→どう関わり→どう変化したか』が保護者の方にわかりやすいようにお話をすることを全員で統一していく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3		
保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	・契約時に説明を行い、待合室に掲示している。	・指導員としてまだわからないことが多く、自分からは説明できていない。 →児発管から説明しているが、全員知っているべき事であるため、内容理解のための研修を行う予定。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	2		・ガイドラインの提示はしていない。今後行っていく。 ・自分で対応したことは無いが、児発管が対応した際、内容の報告を受けた。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		半年に一度のモニタリング時に同時に行っている。また、その都度応じているが、時間が足りない。 →モニタリング時のみでは少ないと感じている。定期的に面談の希望を募り、ご相談いただける機会を増やしていく予定。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		父母の会などを開催したことが無い。 →今後アンケートを実施し、ご希望があれば場の提供を考えていきたい。



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	ご利用者の今後を考え、現状を見直し改善につなげている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4	会報は無いが、インスタグラムで教員紹介などを行っている。	・お便りの発行を現在検討している。 ・SNSの更新頻度が低いため、曜日を決めるなどして忘れずに発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・鍵付の書庫や机に書類等を保管している。 ・写真などに関しては、個別に確認をとっている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	ビジネスLINEを活用している。ご利用日の確認にも役立っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	春日井市の春育フェア(市内の障がい児通所支援事業所・機関の紹介イベント)に10月参加予定。	・行事や地域との関わりは全く無いに等しい。 →地域のイベントをチェックしまずは職員が参加するなど、何かしらの方法で事業所を知っていただく機会を設けていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	・緊急時に使用する事業所のスマートフォン番号については周知している。	・保護者へのマニュアルの周知ができていない。10月頃にお知らせしていく予定。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	・年間計画を立て、実施している。	・現在1回の実施。今後定期的に行う予定。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	3		予防接種は把握できていない。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事類の提供は行っていない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	年間計画を立て、研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年9月20日

公表: 令和5年9月25日

事業所名: S.I.C.KIDS春日井校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	一箇所に利用者が集中しない様、トレーニングメニューの順番に配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2		・トイレに入るための段差が大きい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3	管理者が個別面談を実施し、目標設定と振り返りを行っている。	・管理者が全員に対してまだ面談ができていない。 →全員と面談した上で、事業所全体の目標設定を行う。 ・支援に関しては各々できているが、他業務に関してはこなすことしかできていない。 →他業務に意識が向くよう、時間の有効な使い方を考えていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		今回が初めての評価(R4.10月開所)
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		R5.9月末に公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	2~3か月に一度の定期的な研修がある。	・研修の種類や回数が妥当かがわからない。 →事業所内研修の機会を増やす予定。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	利用者の思いに加え、直接支援する指導員、客観的に関わる児発管、常に関わってみえる保護者それぞれから見た課題を盛り込めるようにしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	5		標準化されたアセスメントツールは使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3	・記録を共有し、当日のプログラムを立てている。 ・記録を都度見直し、課題を繋げてプログラムを立てている。	・その日の担当職員が立てることが多いため、チームでの立案は行っていないが、支援は繋がるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・記録を振り返り、前回の内容と同じにならないよう、努めている。 ・メニューが同じであっても、同じだと感じない工夫をしている。	・どのトレーニングメニューもこなせてしまう利用者には、プログラム内容が似たり寄ったりになってしまいやすい。 ・メニューが物足りないのではと感じることがある。 →トレーニングメニューを増やし、より利用者の現状に合った支援が提供できるよう努めていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	0	5	平日頃から支援を変化させている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	0	5	特に計画には記していないが、活動中に他の利用者と交流できる時間を少し設けている。	・マンツーマン指導であるため、集団生活に課題のあるお子様への支援ができていない。 →時と場合により、トレーニングメニューを複数人で行えるものを取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	・朝礼時に、当日気を付けることや前回の様子などを共有している。 ・必要に応じて行っている。	・当日使う教具などについては確認しているが、マンツーマン指導なので、役割分担について話すことはあまり無い。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	・空き時間を利用して、その都度報告しあっている。 ・必要に応じて行っている。	・支援終了後は毎日できていない。 →可能な限りその日の内に行えるよう、時間の使い方を見直していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	支援時の様子や利用者の発言などをできるだけ記録している。	行ったことの記録はできているが、どのように関わりどう変化したかについての記録が弱い。 →記録の仕方について再度話し合い、誰が記録しても成長具合や課題点がわかりやすいものとしていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	お子様の様子について事前に考えていただくため、1～2週間前にモニタリングのお知らせをお渡ししている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0	事業所外へ出ることがなく、限定された支援になっているが、室内でできることを工夫して行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		まだ該当児がいないが、その時にはそうする。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	0	5		送迎を行っていないため、学校との連携が取りにくい。 →保護者の許可を得られれば、学校と電話でやり取りするなどし、より良い支援に繋げていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当児無し	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	保護者からOKをいただければ共有している。また、保護者を通して行うこともある。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当児無し	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		・お互いの情報共有にとどまっているため、今後計画していきたい。 ・今後研修があるのであれば参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5		現在参加できていない。10月頃より参加を考えている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	支援終了後に、当日行った内容について申し送りをしている。	支援の様子についてはいつも伝えることができていないが、状況や課題についての共通理解はできていない。支援報告が、指導員によってはしたことのみ報告になっている。→例えば目標に基づいて支援を行ったのであれば、『どのような姿があり→どう関わり→どう変化したか』が保護者の方にわかりやすいようにお話を全員で統一していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	5		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に説明を行い、待合室に掲示している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		半年に一度のモニタリング時に同時に行っている。また、その都度応じているが、時間が足りない。 →モニタリング時のみでは少ないと感じている。定期的に面談の希望を募り、ご相談いただける機会を増やしていく。 →相談しやすい環境や機会の設定を行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		父母の会などを開催したことがない。 →今後アンケートを実施し、ご希望があれば場の提供を考えていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		ご意見箱の設置を検討している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	5	会報は無いが、Instagramで教具紹介などを行っている。	お便りの発行を現在検討している。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	・鍵付の書庫や机に書類等を保管している。 ・写真などに関しては、個別に確認をとっている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	ビジネスLINEを活用している。ご利用日の確認にも役立っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		・行事や地域との関わりは全く無いに等しい。 →地域のイベントをチェックしまずは職員が参加するなど、何かしらの方法で事業所を知っていただく機会を設けていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	緊急時に使用する事業所のスマートフォン番号については周知している。	・保護者へのマニュアルの周知ができていない。10月頃にお知らせしていく予定。 ・周知できているかがわからない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	年間計画を立て、実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	年間計画を立て、研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事類の提供は行っていない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	定期的に声かけをし、記入への意識づけを行っている。	